

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-6849

(P2009-6849A)

(43) 公開日 平成21年1月15日(2009.1.15)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
B 6 O R 13/10 (2006.01)	B 6 O R 13/10	3 D O 2 4
B 6 O R 19/50 (2006.01)	B 6 O R 19/50 F	

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号	特願2007-170214 (P2007-170214)	(71) 出願人	307017811
(22) 出願日	平成19年6月28日 (2007. 6. 28)		砂川 丞
			沖縄県豊見城市字豊見城 5 6 6 番地の 8
			ドミールとよみ 3 0 3 号
		(72) 発明者	砂川 丞
			沖縄県豊見城市字豊見城 5 6 6 番地の 8 ド
			ミールとよみ 3 0 3 号
		F ターム (参考)	3D024 CA03

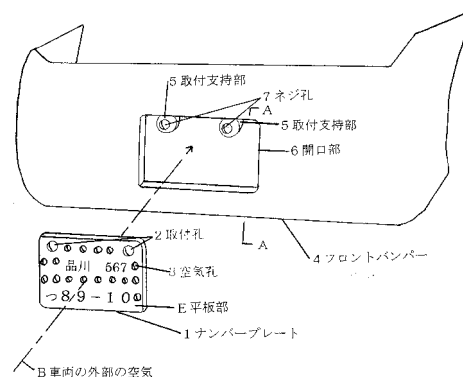
(54) 【発明の名称】 空気孔のあるナンバープレートおよび車両用フロントバンパー

(57) 【要約】

【課題】ナンバープレートに形成された空気孔とフロントバンパーに形成された開口部により、効果的に車両の外部の空気をエンジンルーム内に取り入れることができる空気孔のあるナンバープレートと車両用フロントバンパーを提供する。

【解決手段】車両（図示せず。）前部に取り付けられるフロントバンパー 4 にナンバープレート 1 が取り付けられ、車両の外部の空気 B をエンジンルーム内へ取り入れるための空気孔 3 と開口部 6 が形成されていることを特徴とする。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

ナンバープレートが取り付けられる車両用のフロントバンパーであって、取り付けられるナンバープレートの裏側に位置する前記フロントバンパー部にナンバープレートを取り付けるためのネジ孔を設けた取付支持部を備え、かつ、車両の外部の空気をエンジンルーム内へ取り入れるための開口部が形成されていることを特徴とする車両用フロントバンパー。

【請求項 2】

ナンバープレートが取り付けられる車両用のフロントバンパーであって、取り付けられるナンバープレートの裏側に位置する前記フロントバンパー部にナンバープレートを取り付けるためのネジ孔を設けた取付支持部を備え、かつ、車両の外部の空気をエンジンルーム内へ取り入れるための開口部が形成されていることを特徴とする車両用フロントバンパー。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、空気孔のあるナンバープレートと、ナンバープレートが取り付けられる車両用フロントバンパーに関する。

【背景技術】**【0002】**

ナンバープレートは、車両に取り付けられる金属製の板で、個別の車両を識別することが一般的におこなわれている。

【発明の開示】

20

【発明が解決しようとする課題】**【0003】**

本発明の目的は、車両の外部の空気を、ナンバープレートに形成された空気孔とフロントバンパーに形成された開口部により、効果的にエンジンルーム内に取り入れることができる空気孔のあるナンバープレートと車両用フロントバンパーを提供しようとするにある。

【課題を解決するための手段】**【0004】**

このため、本発明に係る空気孔のあるナンバープレートにおいて、ナンバープレートが取り付けられる車両用のフロントバンパーであって、取り付けられるナンバープレートの裏側に位置する前記フロントバンパー部に前記ナンバープレートを取り付けるためのネジ孔を設けた取付支持部を備え、かつ、車両の外部の空気を前記エンジンルーム内へ取り入れるための開口部が形成されていることを特徴とする。

30

【0005】

また、本発明に係る車両用フロントバンパーにおいて、ナンバープレートが取り付けられる車両用フロントバンパーであって、取り付けられるナンバープレートの裏側に位置する前記フロントバンパー部に前記ナンバープレートを取り付けるためのネジ孔を設けた取付支持部を備え、かつ、車両の外部の空気を前記エンジンルーム内へ取り入れるための開口部が形成されていることを特徴とする。

【発明の効果】**【0006】**

すなわち、前記空気孔のあるナンバープレートに形成された空気孔から取り入れられる前記車両の外部の空気は、前記車両用フロントバンパーに形成された開口部により効果的に前記エンジンルーム内へ導かれ、車両の前記エンジンルーム内や前記エンジンルーム内の冷却装置等を効率的に冷却することができる。

40

【発明を実施するための最良の形態】**【0007】**

以下図面によって本発明の実施例を詳細に説明する。

【0008】

図 1 には、本発明に係る空気孔のあるナンバープレート 1 と車両用フロントバンパー 4 が模式的に示されている。

【0009】

50

フロントバンパー 4 は、車両（図示せず。）の前部に取り付けられ、ナンバープレート 1 は、取付孔 2 と取付支持部 5 に設けられたネジ孔 7 にネジ（図示せず。）等を挿通してフロントバンパー 4 に取り付けられる。

【 0 0 1 0 】

ナンバープレート 1 を取り付けるための取付支持部 5 に設けられたネジ孔 7 の形成されている面取付支持部前面 D は、図 3 に示すように、フロントバンパー前面上部 C よりもエンジンルーム側へ向かって内側の位置に形成されている。

【 0 0 1 1 】

また、図 3 に示す取付支持部 5 に取り付けられた、ナンバープレート 1 の表面はフロントバンパー前面上部 C より前方に位置することなく取り付けられる。

【 0 0 1 2 】

フロントバンパー 4 には、図 3 に示すように、車両の外部の空気 B をエンジンルーム 8 内に取り入れるための開口部 6 が設けられている。開口部 6 は、ナンバープレート 1 の形状と同一形状でナンバープレート 1 よりも大きな略長方形形状に形成されている。このため、取付支持部 5 に取り付けられたナンバープレート 1 の全部は、前記略長方形形状の中に納まり取り付けられている。

【 0 0 1 3 】

ナンバープレート 1 には、図 2 に示すように、文字や記号や数字等と前記文字や記号や数字等を表示するための基礎となる平板部 E に車両の外部の空気 B をエンジンルーム 8 内に取り入れるための空気孔 3 が形成されている。

【 0 0 1 4 】

また、前記空気孔 3 は、前記文字や記号や数字等と前記平板部 E に形成されていたが、前記車両の外部の空気 B をエンジンルーム 8 内へ取り入れることができれば、例えば、数字の一部や平板部 E にのみ形成されていてもよく、本実施例に限定されるものではない。

【 0 0 1 5 】

前記空気孔 3 は、前記ナンバープレート 1 に表示されている前記文字や記号や数字等が認識可能な大きさおよび形状で形成されている。なお、空気孔 3 は、前記ナンバープレート 1 に表示されている前記文字や記号や数字等が認識可能な大きさおよび形状で形成され、かつ、車両の外部の空気 B をエンジンルーム 8 内へ取り入れることが可能な大きさおよび形状を有すればよく、本実施例に限定されるものではない。

【 0 0 1 6 】

本実施例の空気孔のあるナンバープレート 1 と車両用フロントバンパー 4 を取り付けた車両（図示せず。）では、空気孔 3 と開口部 6 が設けられていることにより、特に走行中には、車両の外部の空気 B の量を増加させエンジンルーム 8 内へ取り入れることができ、エンジンルーム 8 内やエンジンルーム 8 内の冷却装置（図示せず。）等を効率的に冷却することができる。

【 0 0 1 7 】

本実施例のフロントバンパー 4 では、開口部 6 をナンバープレート 1 の形状と同一形状でナンバープレート 1 よりも大きな略長方形形状に形成し、取付支持部 5 に取り付けられたナンバープレート 1 の全部が前記略長方形形状の中に納まり取り付けられているため、積極的に車両の外観を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 8 】

【図 1】本発明に係るナンバープレート 1 とフロントバンパー 4 を模式的に示した斜視図である。

【図 2】図 1 に示した 1 の正面図である。

【図 3】図 1 に示した A - A 線に沿って得られた模式的な断面図である。

【符号の説明】

【 0 0 1 9 】

1 ナンバープレート

10

20

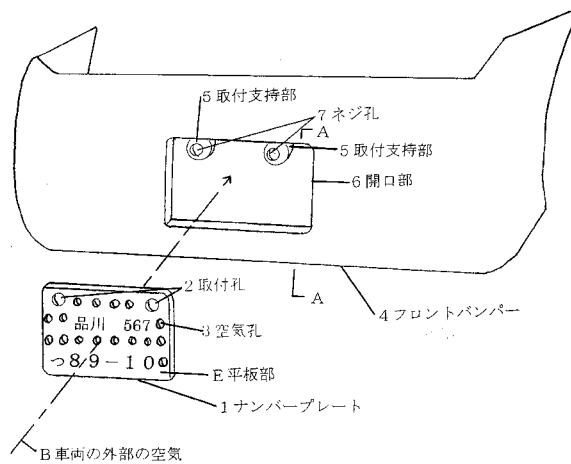
30

40

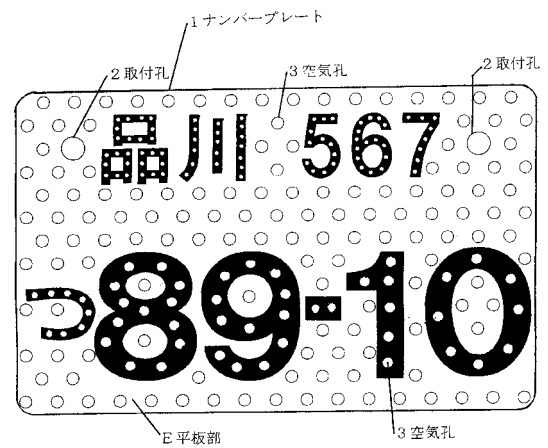
50

- 2 取付孔
- 3 空気孔
- 4 フロントバンパー
- 5 取付支持部
- 6 開口部
- 7 ネジ孔
- 8 エンジンルーム
- B 車両の外部の空気
- C フロントバンパー 前面上部
- D 取付支持部 前面
- E 平板部

【 図 1 】



【 図 2 】



【図 3】

